

事務事業名		清嵐荘整備事業		所属部	産業観光部	所属課	観光振興課
総合計画体系	政策名	(V)挑戦し活力を産みだすまち<<産業>>		所属G	観光振興グループ	課長名	落合正成
	施策名	(38)観光の振興		担当者名	高橋澄人	電話番号	0854-40-1054
	目的:対象	市外の人・市民	意図	市内観光地を訪れ、市内で消費してもらう。		(内線)	2431
	基本事業名	(117)受け入れ施設の充実		予算科目	会計 款 大事業 大事業名	清嵐荘整備事業	
目的:対象	観光客	意図	受け入れ施設を整える。	0 1 3 5 0 4	中事業	清嵐荘整備事業	
				0 5 2 0 0 1	中事業	清嵐荘整備事業	

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (27年度~)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
築50年を超える施設は老朽化が著しい。観光振興を図るためには、魅力ある宿泊施設が必要不可欠である。清嵐荘を再整備することで、「出雲湯村温泉郷」のブランド構築を図り、雲南市全体の観光振興と経済効果を波及させていきたいと考える。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	28年度実績(28年度に行った主な活動)	29年度計画(29年度に計画する主な活動)		
	② 活動指標	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	① 地質調査業務委託	引き続き、管理運営計画策定支援を受けながら実施設計をすすめていく。			
	② 井戸調査業務委託	現清嵐荘は、平成30年1月末をもって休業する予定である。			
	③ 管理運営実施計画策定支援業務委託				
	④ 実施設計業務委託				
	ア 清嵐荘運営日数	日	362	364	296
	イ				
	ウ				
	エ				

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	観光客	③ 対象指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
			ア 市内観光入込客数	千人		1,482.9	1,529.6	1,530.0
			イ 清嵐荘宿泊者数	人		5,360	5,817	4,830
			ウ					
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	ゆったり、くつろげる温泉宿泊施設とすることにより観光客の満足度をアップさせる。	④ 成果指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
			ア 観光消費額推計	百万円		4,023	未定	4,100
			イ					
			ウ					

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (28年度決算)	② コストの推移	単位	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(計画)
報償費12千円 旅費57千円 需用費318千円 委託料12,956千円 使用料及び賃借料8千円	財源内訳	千円				
	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円			11,000	50,900
	その他	千円				
	一般財源	千円		20,523	2,351	8,859
	事業費計(A)	千円		20,523	13,351	59,759
	人件費	人		2	2	
	正規職員従事人数	時間		190	1,645	
	延べ業務時間	千円		744	6,526	
	人件費計(B)	千円		21,267	19,877	
	トータルコスト(A)+(B)	千円				

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
H27. 3月 中国横断自動車道全線開通	清嵐荘実施設計をすすめるにあたり、専門的な考えをとり入れるため、管理運営実施計画策定支援業務を委託し、実施設計に反映するよう努めた。	平成26年度に清嵐荘改築整備に対する反対陳情をいただいた。現在は、議会に対し、事業の進捗状況等を説明している。

事務事業名	清嵐荘整備事業	所属部	産業観光部	所属課	観光振興課
-------	---------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？		
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒	
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	管理運営計画等による専門的な意見をとりいれていくことにより向上することが考えられる。
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない		
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有		
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	類似事業はない。	
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	「出雲湯村温泉郷」のブランドを構築し、雲南市全体の観光振興を図るためには必要である。が、事業費抑制も視野にいれながら遂行していく。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
B 有効性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	過大な人員配置とはなっていない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
C 効率性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	雲南市全体の観光振興を目的としている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
		B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり
		C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
		D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
		専門的な考えをとりいれるため、管理運営実施計画支援業務を委託し、実施設計を行なっている。	

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上	●		維持		×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上	●																	
	維持		×																
	低下	×	×																
市民及び議会等の理解を得ながら業務遂行していく。	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																		